

学校だより

横浜市立都岡小学校



せんだん

7月号

令和5年6月30日

「見えぬけれどもあるんだよ」

校長 藤本 萌

梅雨の晴れ間、子ども達は休み時間を心待ちにしている、チャイムが鳴ると元気よく校庭に飛び出していきます。この暑さと湿度の中、安全に遊べるかどうか、職員室ではその都度WGBT（熱中症計）とにらめっこです。また今週は、「プール開き」を行いました。コロナ禍を超えて、久しぶりに水泳学習に本格的に取り組むことができます。とはいえ、3年間の空白があるので、決して無理はさせず、指導も緩やかに、少しずつ進めるようにいたします。子ども達が不安なく、外遊びや水泳学習を楽しみにできる毎日であるように願いながら、この夏を迎えたいと思います。

さて、先日、校内を巡回していると、高学年の外国語の授業が目にとまりました。今年度のAET、ドルセ先生と担任とのチームティーチングで行われています。今は、昔のように教師が話した言葉をそのまま真似をして発音したり、書いてある文章を読んだりする授業ではありません。その日は、「英語を使って自分のことを話す」という学習活動をしていました。子ども達は、「I live in Tsuka.」「I usually play games on Sunday.」「My treasure is my family.」など、既に耳で聞いて慣れ親しんだ表現を使って、絵カードなどを手掛かりにしながらかつ々と自分の言葉で話していました。見ていると、積極的に手を挙げたり声に出したりしている子がいる一方、じっと黙ったままの子もいることに気が付きました。表面だけとらえれば、「話せない」「反応がない」ように見えるかもしれませんが、しかし、違います。子どもの様子を丁寧にしっかりと見ていると、黙っている子も実は十分に学んでいることがわかります。友達の話す言葉や教師の応答をよく聞き、状況を観察して、自分ならどのように言えばいいか考え、失敗しないで言えるようになるまで頭の中で何度もシミュレーションして、そのあとで行動を起こすのです。このように学んでいくタイプの子も少なくありません。

学習活動への取り組み方やペースは、子ども一人一人違います。教師の発問に、すぐに反応して素早く行動に移す子ばかりではなく、じっくり考えて周りの様子を観察してから動く子や、言葉にすることが不得意な子もいます。頭の中で考えていることや、心の中で思っていることは目には見えません。金子みすゞさんの言葉を借りれば、「見えぬけれどもあるんだよ（『星とたんぼぼ』より）」です。だからこそ、子ども達の姿を一面だけでとらえたり、表出されたものだけで判断したりしないようにしたいものです。

いよいよ夏休み。子ども達が健やかに、有意義な毎日をご過ごせるように願っています。皆様、お元気でお過ごしください。

◆お知らせ 130周年記念タイムタワー開封と校舎見学◆
創立130周年タイムタワー関係者の方々のご尽力で、次のように開封展示会がおこなわれることになりました。当日には、新旧校舎見学ツアーも計画しています。地域の方々、卒業生の方々はお誘いあわせの上、ぜひお越しください。
日時:令和5年7月22日(土)午後1時30分受付開始
場所:都岡小学校 体育館(旧正門からお入りください)
持ち物:上履き、下足入れ袋